

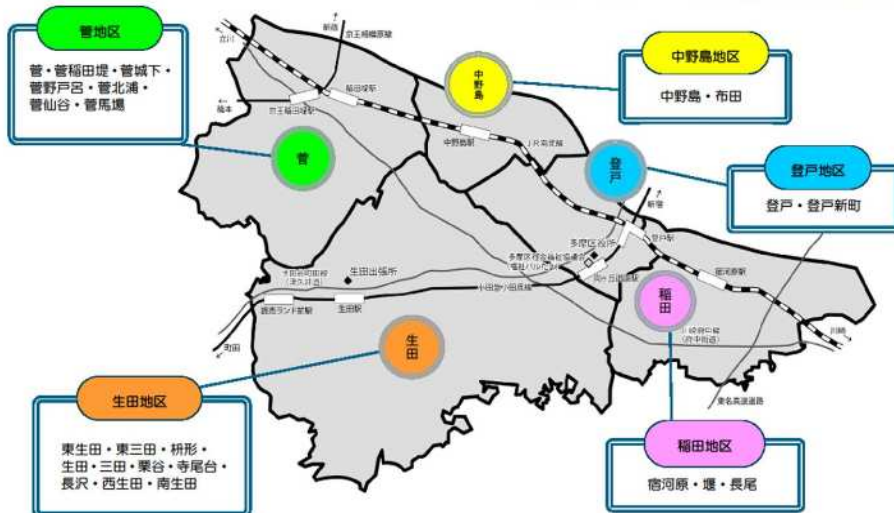


**多摩区内5地区における  
地域づくりの取組について**

**多摩区における地ケアの取組について**

**多摩区内5地区の取組**

多摩区では地区社会福祉協議会の区割りを参考に区内を5地区に分け、それぞれの地域特性に応じた地域づくりに取り組んでいます。これまでの各地区での主な取組を紹介します。



# 登戸地区の地域づくり

R3年度

## ■のぼりとミーティングの継続

地域のつながりの中で課題解決していけるように、様々な主体をつなぐ機会として団体交流会「のぼりとミーティング」を継続しています。

## ■コアミーティングの実施(5/26開催)

のぼりとミーティング参加27団体のうち、出席を希望する13団体が集まり、意見交換を行った後、R3年度の取組内容について投票を行いました。



意見交換の様子



投票の様子

講演についてご興味がある方は、  
地域ケア推進課へお声掛けください！

R元年度ののぼりとミーティング  
開催レポート



## ■のぼりとミーティングの実施(11/29開催)

コアミーティングの結果を受け、「活動再開に向けて！！地域活動のすすめ～通いの場での新型コロナウイルス対策 実践のポイント～」をテーマとした講演と、4～5人でのおしゃべりタイムを、会場とZoomを併用して実施しました。新規団体へもお声掛けし、様々な意見が交わされました。



講演の様子



おしゃべりタイムの様子

# 登戸地区の地域づくり

R4年度

■「横の結びつき」の強化のため、団体交流会「のぼりとミーティング」を年1回から2回に拡大すると同時に、地区診断の実施、登戸10町会長へのヒアリングを実施予定です。

## ■第1回ののぼりとミーティング (7/6開催 15名参加)

第1回は3～4人グループでの「おしゃべり会」とし、複数のトークテーマの中から各々任意のテーマを選んで、自由に交流を深めました。



## ■第2回ののぼりとミーティング (R5.2月～3月開催予定)

第1回で出た意見、右記の地区診断の結果に基づき、実施内容を検討予定。

## ■地域情報の共有 (8/4 実施予定)

登戸地域包括支援センター、多摩区社会福祉協議会と連携し、登戸地区の地域情報を共有。

地域づくりの基礎となる地域情報を共有するとともに、登戸地区の地域づくりについて意見交換を行い、今後の取組についてどのように連携していくか検討します。



## ■登戸10町会長へのヒアリング (5月中旬～6月末で実施済)

### ねらい1: 町内会との関係構築

基礎情報の把握及び関係構築を進める

### ねらい2: 地域活動への理解醸成

地域活動の安定的な活動継続には町内会の理解が不可欠であるため、活動内容及び必要性について発信していく

### ねらい3: のぼりとミーティングとの連携

のぼりとミーティングと町内会がお互いの活動について情報を共有しあい、連携していく



# 菅地区の地域づくり

R3年度

## ■町会との継続的な関わり

町会ヒアリングのフォロー、キーパーソンヒアリング等を通じて町会との関係づくりを進め、地域情報の収集を継続していきます。菅町会内で立ち上がった「10年先を考えるプロジェクトチーム」との関わりを通じて地域課題を共有し、連携した取組を検討していきます。

## ■集合住宅への働きかけ

高齢化率が高い集合住宅の住民を対象として、自助・互助の意識醸成に向けた取組を進めています。ヒアリングを通じて、住民の状況や関心を確認し、住宅内で課題を考えるきっかけづくりや、参考となる活動の紹介を実施していきます。

## ■地域包括支援センターとの連携

地域と密接に関わる地域包括支援センターと情報共有し、連携して地域づくりの取組を進めています。

### 【実施内容】

- ・各地域包括支援センターとの情報交換会
- ・身近な地域での交流の場の検討  
(菅の里地域包括支援センター中庭の活用など)



菅の里地域包括支援センターの中庭

# 菅地区の地域づくり

R4年度

## ■(仮)Team SUGE地ケアプロジェクト(R4～R6:3年プロジェクト)

～菅地区の小地域における「困り事・心配事」を把握し、地域の実情に応じた取組を考えよう～

「住民関係の希薄化」や「子育てへの不安」、「情報格差」など地域には、「困り事・心配事」があることが推測されます。そのため、菅地区ならではの「困り事・心配事」を住民、関係機関等と共有・把握する必要があります。

また、共有・把握した「困り事・心配事」を行政だけでなく、住民、関係機関等と連携して、対応することが大切です。

そこで、小さなエリアでの困りごと・心配事(課題)や、様々な活動団体・場所などの地域資源を丁寧に発掘しマッチングを行い小さなエリアで課題解決を行う(仮)TeamSUGE地ケアプロジェクトを実施します。

R4年度は「困り事・心配事」の把握、資源やニーズの整理を行います。

- ①「困り事・心配事」の共有及び地域資源の整理【6/30、7/29にWS実施予定】
- ②活動現場の調査・確認(ツアー)【10月～12月に実施予定】
- ③ツアーの振り返り、取組テーマの設定【2月～3月にWS実施予定】



# 中野島地区の地域づくり

R3年度

## ■中野島多世代つながり愛プロジェクト協議会の継続

東京都健康長寿医療センター研究所(平成30年協定終了)とともに、中野島地区を地域包括ケアシステムのモデルとして、地域資源及び住民ニーズを調査・把握し、多様な主体と連携した有効な体制・手法を検討、実施してきた本協議会を継続して開催してきました。協議会を中心に交流を深めて地域でつながり、多世代が支え合う地域づくりを目指しています。

## ■中野島多世代つながり愛プロジェクト協議会 コアミーティングの実施(5/24)

中野島多世代つながり愛プロジェクト協議会が発足してから5年経過した節目として、今後の協議会の方向性等について意見交換を行いました。

その中で、令和3年度は「協議会のテーマの明確化」に向けて協議会を3回開催することとなりました。



あいさつで つながる心 咲く笑顔

## ■中野島多世代つながり愛プロジェクト協議会の開催 (年3回実施、11/1、11/15、12/13)

子育て世代とシニア世代に関する「地域の強みと課題」について、意見交換を行いました。

そして、抽出した課題の中で、取り組むべき優先が高いスローガン及び課題を投票で決定しました。



# 中野島地区の地域づくり

R4年度

## ■中野島多世代つながり愛プロジェクト協議会の継続

引き続き、協議会を中心に交流を深めて地域でつながり、多世代が支え合う地域づくりを目指していきます。

## ■中野島多世代つながり愛プロジェクト協議会の開催

(年3回実施 第1回(6/27)、第2回(7/25)、第3回(令和5年2~3月頃予定))

令和3年度は、抽出した課題の中で、取り組むべき優先が高いスローガン(課題)を投票で決定しました。(下記、参照)

令和4年度の第1回(6月27日)、第2回(7月25日)の協議会では、スローガン③「つなげよう、みんなの「愛」少しずつ」に向けて、①各団体・個人で取り組めること ②協議会として取り組めることを検討していきます。

第3回(2~3月)の協議会では、各団体・個人、協議会の取組について、報告・評価を行い、来年度、どのスローガンについて取り組むか、意見交換を行います。

- スローガン① 距離を越えるきっかけづくり
- スローガン② 情報収集する方法を発信していこう
- ★スローガン③ つなげよう、みんなの「愛」少しずつ
- スローガン④ みんなで見守ろう地域の安全

- 課題 シニア・子育て世代の出かけ先が少ない、行きにくい
- 課題 情報収集の困難さがある
- 課題 プロジェクトの周知が足りない
- 課題 防犯、地域での見守りについて



あいさつで つながる心 咲く笑顔



# 稲田地区の地域づくり

R3年度

## ■3地域の特徴に応じた地域づくり

稲田地区は宿河原・堰・長尾の3地域で構成されているため、それぞれの地域ごとに特徴を分析し、取組を進めています。令和3年度は堰地域と宿河原地域の地域づくりに取り組みました。

### 【堰地区】

#### <取組内容>

具体的な地域活動情報を把握するため、様々な分野の地域活動団体へのヒアリングを実施しました。  
また堰町会と継続して連絡を取り合い、地域情報や課題を共有しました。

### 【宿河原地区】

#### <取組内容>

「子育てサロン いちにのさん！」の継続に向けて、多摩区社会福祉協議会と連携し、新規スタッフ募集の支援をしました。



# 稲田地区の地域づくり

R4年度

## ■3地域の特徴に応じた地域づくり

今年度も引き続き宿河原・堰・長尾の3地域ごとに取組を進めていきます。

### ■宿河原

#### ●地域コミュニティ連絡会との連携

宿河原地域の様々な団体で構成されている「地域コミュニティ連絡会」の活動と連携し、情報共有を行います。  
連絡会の会議に出席し、参加団体の意向、考え方を確認していきます。

### ■堰

#### ●堰町会へのヒアリングの継続

堰地域の状況把握及び関係維持のため、堰町会長へのヒアリングを継続して行っています。

### ■長尾

#### ●カフェながおの活動支援

令和4年4月よりカフェながおの活動が再開したことを受け、7月7日に新代表と打合せを実施。  
10月のカフェながおでの、地区担当保健師による講話実施について調整を行うこととしました。



# 生田地区の地域づくり

R3年度

## ■ 3つの民協エリアの特徴に応じた地域づくり

高齢化率が高く、坂の上で移動が大変な

- 【生田東民協エリア】 → 東生田地域
- 【生田中央民協エリア】 → 生田4～6丁目
- 【生田第2民協エリア】 → 全域

を中心に、坂上の閉じこもりがちな高齢者への働きかけを行ないました。

地域の安全・安心のために活動している東生田町会連絡協議会や各地域の地域包括支援センター、キーパーソン等にヒアリングし、地域情報収集を行ないました。

## ■ 生田出張所を活用した取組

### 生田出張所新庁舎オープニングイベントにて講演会(7/18)

コロナ禍により様々な集まりが中止し、地域で集まることが難しくなっている中で、「新たな手法」によるつながりづくりのきっかけとするため、「コロナ禍でのつながりづくり～”できない”から”できる”へ～」講演会を開催しました。



生田出張所新庁舎

## ■ 生田地区町会連合会との取組の共有

生田地区町会連合会の会議などの機会を活用して、地区の取組を継続的に報告しました。

# 生田地区の地域づくり

R4年度

## ■ 町内会・自治会、地域活動団体等へのヒアリングの実施

引き続き、地域との顔の見える関係づくり、地域課題の把握、地域資源・人の発掘、他団体等とのつながりの把握に努めます。

## ■ 地域資源の分布や課題の見える化(マップ化)の実施

ヒアリングで得た地域情報を基に、地域資源の所在・分布等を把握して、地域課題の解決に向けた基礎資料として活用していきます。

